

## 躍動カフェ（中播磨地域） 議事要旨

### 1 概要

- (1) 日 時：令和6年8月6日（火）13：30～16：10
- (2) 場 所：イーグレひめじ あいめっせホール（姫路市本町 68-290）
- (3) 参加者：齋藤知事、中播磨地域（姫路市、福崎町、神河町、市川町）に在住・在学・在勤等しており、伝統文化の継承、地域産品づくり、歴史遺産を活かした誘客促進など各方面で活躍している 29 名
- (4) テーマ：豊かな地域資源を活かし、個性が輝く<sup>ひと</sup>中播磨地域へ
- (5) 内 容：知事挨拶  
グループ別意見交換（A～E グループ）  
グループ別意見発表（A～E グループ）  
知事総括コメント

### 2 意見発表の内容

#### A 地域文化（文化継承とふるさと意識の醸成）

発表者：民野靖（進行役）

##### 現状と課題：

- 地域文化の文化継承とふるさと意識の醸成のために、課題として、地元に戻らない学生や若者が多いこと、伝統文化に触れる機会が少ないことが挙げられる。
- 地元に戻らない若者が多いことについて、地元産業文化の体験、経済支援、企業のIT化、企業とのマッチングといった機会の提供が必要。
- 伝統文化に触れる機会が少ないことについて、地域の伝統を守るために、地域ではどのような取組をすれば伝統が守れるのかを考えることが必要。

##### 課題解決に向けて：

- 地元に戻らない若者が多いことについて、体験する機会が増えることで、知る、つながる、漁業体験など、地元の人でさえ、知らないことでも、外からの人から見れば、魅力があるというところはたくさんある。  
訪れてもらうことで参加者同士の交流の良い機会にもなる。体験の場を増やす取組を行政に願います。
- 補助金等があって取り組めることもあるが、行政に頼ることなく、補助金をなくしてもやっていけるような取組も考えていかないといけない。
- 地域の伝統を守る取組として、単発ものではなく、継続的に行うイベントなどを実施し

ていかなければいけない。例えば、地域のお店に協力してもらい、地域と企業と子供をつなげるといったイベントも1つの案。

伝統文化について、若者に対してのアプローチと重なるが、実際に体験する、知る、つながるというところで、そこから愛着が湧き、伝統が受け継がれ、地元に残るということにつながっていくと考えている。

- 何かに取り組んでいくときに、初めから中播磨全体でスタートするのではなく、各地、各現場の歯車の一つずつつなげていくイメージで、最終的にこの中播磨全域で巻き込んで大きな歯車にできればいい。
- 学生や企業だけではできないところもあるので、例えば、今回のような交流の場を持たたら良いなど。皆さんに協力してもらいながら、イベントを実施できたら良いと思う。

## B 地域づくり（子育てしやすい環境づくり）

発表者：作原美穂（進行役）

### 現状と課題：

- 地域づくり、子育てしやすい環境づくりについて、中播磨地域には姫路城と大自然があり、ほどよい都会でとても住みやすい。先日も0歳から18歳まで方の医療費が無償になった。個人的にはかなり大きなニュースだと思いつつ、4年前に東京から姫路に移住をしてきたときに、医療費については少し不満に思っていたこともあり、また周りの人もようやく、という感想が多い。
- 課題について、行政的などころで言うと、市町によってサービスに違いがあること。例えば、明石市は他市町と比べて子育て支援が非充実しているとか。
- 公園の設備が子育て世代にとって不十分などころもある。
- 働き方について、今回の参加者は会社経営者、会社員、フリーの人など様々だが、属人的な仕事が多い職種の方たちがいるのが現状。
- 環境面について、市にファミリーサポートサービスといったものがあるが、知らない人も多く、うまく周知されているか分からない。他には、不妊治療と仕事の両立や託児所の問題、病児保育への対応、子育て世帯がそもそも減少していることも課題。

### 課題解決に向けて：

- 行政サービスについて、市区町村で差が少なくなるよう、良いところはぜひ横展開をしていただきたい。
- 老朽化や維持管理などの影響もあり、公園や手軽なプールが無くなってしまふことがあるが、そういった役割を補填するような施設があるといい。
- 属人的な仕事や組織については、育休取った時のフォローをどうするかを考えないといけない。
- 子育て世代がファミリーサポートを受けられるように、子育て支援の施策、体制は県で統一していくべき。

## C ものづくり（地域産業の次世代への継承）

発表者：細見美香（進行役）

### 現状と課題：

- ものづくりに対する広告力について、播磨はものづくりが盛んに行われている、いわば「ものづくりのまち」であるが、地元の人でも知らないことが多い。私も最近までよく分かっていなかった。
- 播磨地域には山や海、川、生野銀山、土、水といった自然の恵み、地域資源がたくさんあるからこそ、多種多様な地場産業が生まれたのではないか。
- 実際のところは、たくさんの地場産業、いろいろなものがありすぎて見えていない、知られていない。ツールがうまく使えておらず、知ってもらうところになかなかたどり着けていない。

中小企業や小さな会社は、マンパワーが足りていなかったり、発信する術を知らなかったり、資金が足りていなかったりする。

反対に、ツールを使っているが発信方法が間違っている、発信はするけれど伝えたい内容を十分に伝えられていないということもある。

- 地域と行政のつながりがなかなかうまくいってないと感じることもある。

例えば、姫路のシンボルである姫路城の補修を他県の業者に委託されていたが、そうではなくて、兵庫県の中で、特に播磨ですごい技術を持ってらっしゃる方がいるのに、そういった方を拾い上げられないことは問題。

### 課題解決に向けて：

- ものづくりに対する広告力を高めるために、人々に知ってもらおうというきっかけを提供することが大事。例えば、多くの人に触れてもらえるよう、動画と文字とかをミックスした発信方法や、絵本とかメディアの力を使うといった工夫が大事。
- 例えば、単体でものづくりをされている会社が、独自でやろうとすると資金力がなかったり、方法がなかったり広告の力がなかったりするが、多様な地場産業を地域が一体となって発信する必要があると考える。
- 地域一体となって発信することについて、地域の方々がつながり、話をする、そして行政の方々にも知ってもらうことが大事で、まずは行政に地域を知ってもらうことが必要。仲間でどんな人たちがいて、どんな技術があって、どんな人たちがそこで活躍しているのかというのを、行政がよく知らない。

やはり行政と地域が1つになって、地場産業を知ってもらう、職人を知ってもらう、そしてそれを知らせていく。そのためにも、行政からの情報提供等が必要になってくる。

- 今回の躍動カフェは、異業種で初めて会う方々がほとんどだったが、多くの課題や方法を見出すことができた。このように、色んな人たちと話すことは、それぞれの価値観や地域を知る、問題点を知っていくということにつながる。こういった話ができる機会を

設けることはすごく大切なこと。

## D 農林水産（地域の恵みを活かす産品・食の魅力発信）

発表者：小川陽平（進行役）

### 現状と課題：

- 中播磨の良いと感じる部分について、歴史を感じられる姫路城があり、秋祭りが行われるなど、歴史文化が非常に豊かな場所である。  
海と山と里がある、川がある、空気が綺麗、自然が豊か、虫が多い、星が綺麗など、非常に環境が良く、自然も豊か。  
災害が少なく、移住しやすい、アットホームな人が多いなど。
- 課題としては、大きく2つ。1つ目が、地域の観光及び姫路以外の知名度が少ない、ブランドとして強く発信できていない。姫路の名物といえば姫路城ぐらいなので、ブランド化という意味では発信力が弱いことを示している。
- 2つ目として、後継者不足、担い手不足がある。地域としての魅力、後継者不足、交流が少ない、文化の継承が難しくなっている。

### 課題解決に向けて：

- ブランドの発信と後継者不足という2つの課題に対して、短期的にできること、中期的にできること、長期的に考えていかなければいけないことについて議論した。
- 1つ目の課題である、ブランドの発信が弱いことについて、短期の部分でのアイデアとして、1つに、分野を越えて議論する場が必要。今回の躍動カフェように、まったく違った分野の人が集まるのは大事。  
我々のような生産者は特に、違う飲食店や学生など若い世代含めて、もっともっといろんな課題を共有して地域全体で前に進めて行けるのではないかと。今後も、今回のような話し合いの機会を、ぜひ中播磨県民センター管内でやっていただきたい。  
短期的な部分で、2つ目の案が、イベント等の告知やインフルエンサーを活用したSNSの発信。単体で発信するとどうしても弱い部分があるので、もう少し幅広く、この議論する場を作るのと一緒に、一緒に大きな発信できたらいい。  
短期的な部分で、3つ目の案が、労働環境を良くすること。一次産業も含めて、労働環境を良くすることによって、働きやすいと感じ、後継者としても考えやすくなると思う。
- 中期的に考えたアイデアとして、世界文化遺産である姫路城があり、インバウンドもあるので、それをきっかけに、ターゲットを国内だけでなく世界に向けられると良い。
- 長期的な部分でいうと、姫路に道の駅ができるという話があるので、道の駅での活用や、イベント等を行うことで、もっともっと幅広い観光や連携しながらPRをしていく。それぞれ姫路でもいろんなブランド化が進んでいますが、もっと幅広い地域ブランドとして発信できるような形に変えていきたい。例えば、食のユネスコ。職に携わる者として、

ユネスコ食文化創造都市を目指していくのもいいと思う。

短期、中期、長期的な課題に対して向き合い、その中で移住、定住促進等々に繋がっていきような情報発信も一緒にやっていきたい。

- 2つ目の課題である、後継者不足について、短期的な部分では、企業、インフルエンサーと協力して、色んな情報発信を行ったり、知ってもらったりすることが必要。
- 中期的なところでは、播磨野菜は、姫路での知名度、中播磨での知名度が低い。姫路には料理学校があるので、学生などに向けて魅力発信して、地域のことを知ってもらうよう取り組むべき。
- 長期的な部分で言うと、外国人もたくさん来訪しているが、そこから定住につながるような形で、その人々にも世界的に発信していただくようなことができれば良い。

行政としても、移住の部分で、移住に興味を持っていただけるようなことをやっていきたい。

## E 国際観光（訪日外国人を呼び込む周遊型観光の実現）

発表者：中村睦哉（進行役）

### 現状と課題：

- 中播磨地域の観光事情について、どうしても、姫路城がキラーコンテンツとなっており、姫路城を観光したあとは、そこから離れてしまっているインバウンドの方々が多い。  
また、姫路城観光に来たインバウンド観光客は、そのまま外に出ってしまう傾向があり、場内観光が乏しい。
- よくある話ですが、姫路に来たお客様は、そのまま新幹線に乗って広島まで行ってしまいうってしまうような形で、こういったインバウンドの方々を多く見てしまいます。
- ツーリズムとして、お金が地域に落ちる仕組みが完全に整備されていないところがある。
- 観光地までの交通を指す二次交通の整備について、海岸線沿いは一次交通が整備されているので良いですが、それ以外の地域はどうしても車やその他の交通手段となってしまう。
- 入込観光客数に比べ、宿泊するインバウンドの観光客が少ない。

### 課題解決に向けて：

- 中播磨地域の観光について、滞在時間の増加や経済効果を望める取組が必要。  
姫路城の場内観光をはじめ、どのように播磨という地域を周遊型コンテンツ、体験してもらい形でものが作っていくか。その中にはホテルや民泊、食ツーリズムやストーリー性を持たせた観光コンテンツなど、これをかけ合わせることで新しい商品ができてくる。
- お金が地域に落ちる仕組みとして、受入れ体制の整備をし、どのように付加価値を付けるか。単価が取れつつ、お客さんにお喜びいただける仕組みが必要。
- 姫路城以外の観光地にも足を運んでもらうため、海岸沿い以外の二次交通の整備が必要。

- 宿泊するインバウンドのお客さんを増やすため、ナイトコンテンツや早朝で行われるイベントなど、この中播磨に宿泊をさせる意味を持たせるっていうものがあればいい。
- 例えば、ストーリー性を持った周遊型のツアーといった商品とそれに必要となる二次交通など、そういったパッケージを誰が中心となって作り上げ売っていくか。行政をはじめ、旅行会社、ホテルなど、一丸となってそういったものを作って、海外の方にプロモーションをかけ、姫路城だけではなくそこから先につながるような、そういった展開が今後あることを望んでいる。

### 3 知事総括コメント

- 本日はそれぞれのグループから発表いただきありがとうございます。それぞれのグループで多様なご意見いただいたことをしっかり受けとめたい。
- B グループの子育てしやすい環境づくりということで、仕事と子育ての両立や不妊治療のご指摘もいただいた。医療費のこと含めて、県内全体で横断的に進めてほしいという意見もありましたが、その場合、人口 540 万人の兵庫県であり、予算がものすごくかかる。色々工夫しながらやっていくということが大事。引き続き、市や町とも連携しながら、色んなことに取り組んでいく。
- インバウンドや交流人口の拡大、どのグループでも課題として挙げた人手不足や担い手不足など、中播磨地域全体で同じ思いを持たれているということが分かった。
- 来年の万博に向けて、フィールドパビリオンを展開しているが、中播磨地域では坊勢島のプログラムや能楽の体験プログラム、姫路のカワノ産業など、いろんなプログラムが入っていただいている。

万博終わった後も大事で、3年に1度開催される瀬戸内国際芸術祭などどう連動していくかも大事。

- 県では、神戸空港の国際化を 2030 年に向けて進めている。これが実現できれば、神戸空港から多くの外国人観光客が来ることになるが、もちろんこの中播磨地域の観光などにおいても大きなチャンスになる。それに向けて、皆さんとともに、コンテンツの磨き上げや受入れ体制を整える必要があり、意見いただいたような着地型のツアーなど、こういったものを磨き上げて作っていくことが大事。
- 今日の意見交換、いろんな話を聞いたことは大変ありがたいこと。県政にしっかりとつなげていく。